

製品名: P2RX7 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81785**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ、ウサギ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	68.6kDa

抗原情報

遺伝子名	P2RX7
別名	P2X7
遺伝子 ID	5027.0
SwissProt ID	Q99572
免疫原	大腸菌で発現したヒト P2RX7 (AA: 226-452) の精製された組み換え断片。

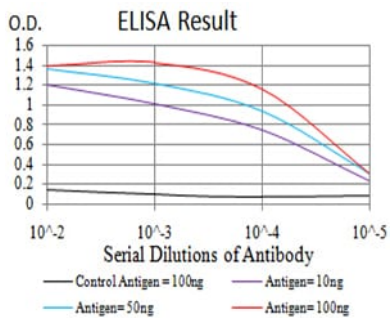
背景

この遺伝子産物は ATP プリン受容体ファミリーに属します。この受容体はリガンド依存性イオンチャネルとして機能し、巨大分子を透過する膜孔の形成を通じて、ATP 依存性マクロファージ溶解を担います。細胞質中の ATP によるこの核内受容体の活性化は、細胞

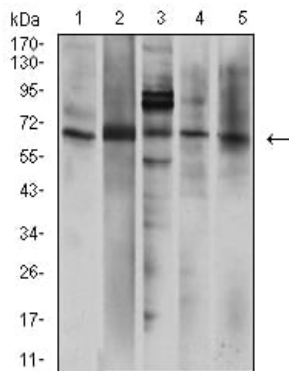
活動と遺伝子発現の変化を連動させるメカニズムである可能性があります。複数の選択的スプライシングバリエントが同定されており、そのほとんどはナンセンス依存性崩壊 (NMD) の基準に適合します。

研究分野

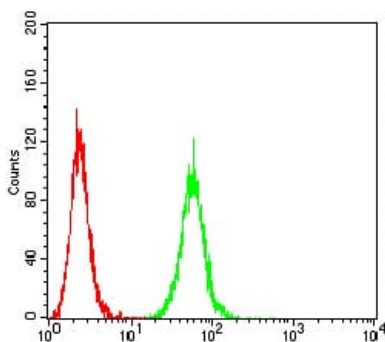
画像データ



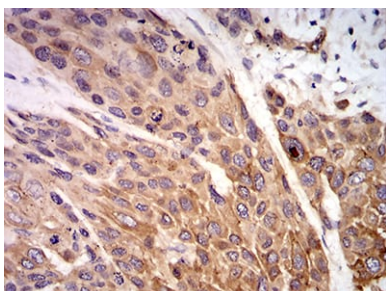
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



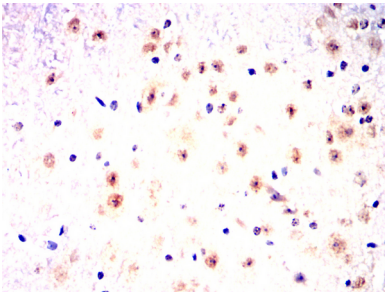
P2RX7 マウス mAb を用いた A431 (1)、U251 (2)、Hela (3)、U937 (4)、および HepG2 (5) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



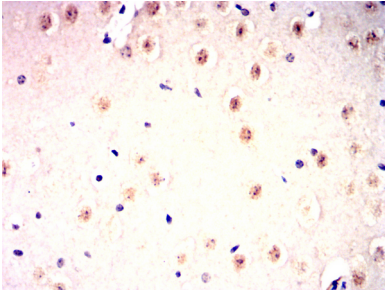
P2RX7 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



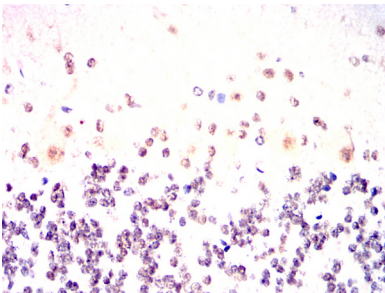
P2RX7 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。



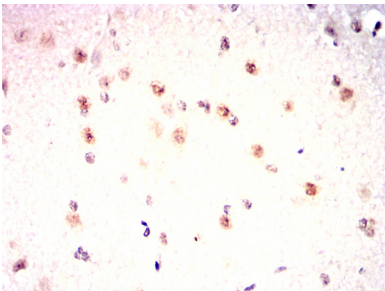
DAB 染色による P2RX7 マウス mAb を使用したパラフィン包埋マウス小脳の免疫組織化学分析。



P2RX7 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析。



DAB 染色による P2RX7 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ウサギ小脳の免疫組織化学分析。



DAB 染色による P2RX7 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ウサギ脳の免疫組織化学分析。